

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	岩崎 英哉、尾内 理紀夫		
居室	西9-517(岩崎)、西9-737(尾内)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
岩崎 尾内	

【主題および達成目標】
コンピュータの働きを理解し、使いこなせるようにする。使用するソフトウェアは主としてUNIXを用いる。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
特になし

【授業内容とその進め方】
<p>講義時間割の前半で、以下の点についての講義と演習を行う。その後は、2学期の「基礎プログラミングおよび演習」を前倒しして行う。1. ログイン、ログアウト---ログイン名、パスワードの概念の理解と、設定 2. エディタによるファイルの作成 3. シェルとファイルシステム 4. 電子メールの受信と送信 5. World Wide Webの閲覧 6. ネットワークコマンド 7. ウィンドウシステム 8. 文書の作成と印刷---TeXで自由に文書が作成できるようにする。9. コンピュータを用いた問題解決。なぜPascalなのか?10. Pascalプログラムの構造、計算と結果の表示11. 基本データ型、変数12. 9?11に対応する演習13. 基本的制御構造---繰り返し14. 基本的制御構造---場合分け 15. まとめ</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法： 講義の出席回数 (30%), 提出されたレポートの内容 (70%) から評価する。(b) 評価基準： 以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。(1) 講義の80%以上に出席し, 課されたレポート数の80%以上を提出していること。(2) 与えられた課題の内容を理解して必要に応じてコンピュータ上で実行し, 結果に関する考察がきちんとなされていること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが, 事前に電子メール等で日時を決めること。

【学生へのメッセージ】

コンピュータを使いこなすことは, 情報工学科の学生にとって必要不可欠である。これができないとその後の勉学, 研究に差支えることを肝に命じて欲しい。

【その他】